

平成30年度 第3回 柳川みやま在宅医療介護連携推進研修会 参加者アンケート結果

(開催日時) 平成31年1月21日(月) 19:00~20:30

(開催場所) 柳川山門医師会館 1階 講堂

○ 参加者数 : 65 名
○ アンケート回収数 : 57名
(回収率 : 88%)

(テーマ)

『 認知症の自覚のない方へのフォーマル・インフォーマルサービス支援について
～認知症の進行を防ぐための支援について考える～ 』

事例提供担当:柳川市地域包括支援センター 池上 まつみ

(1・2)回答者の内訳

職種	所属 病院	診療所	歯科診療所	薬局	訪問看護 ステーション	居宅介護 支援事業所	特別養護老人ホーム 介護老人保健施設 有料老人ホーム	行政機関 地域包括支援センター	社会福祉協議会	その他	計
医師	1	7									8
歯科医師			3								3
薬剤師	2			5							7
看護師	2				4	1					7
保健師								4			4
歯科衛生士			1								1
MSW・PSW等	1				1						2
OT・PT・ST等					1						1
ケアマネージャー	1					7		2	1	1	12
介護福祉士							1			2	3
民生委員								6			6
ボランティアコーディネーター									1		1
事務員											0
その他								1		1	2
計	7	7	4	5	6	8	1	13	2	4	57

(3)参加者の年齢区分(アンケート回答者57名中)

◆ 20代 … 0名 30代 … 8名 40代 … 8名 50代 … 17名
60代 … 13名 70代 … 7名 80代 … 0名 無回答 … 4名

(4)参加回数

◆ 初参加 … 10名 2回目 … 9名 3回目 … 9名 4回以上 … 21名
無回答 … 8名

(5) 本日の研修会はいかがでしたか。

◎ 大変参考になった(とても) ○ 参考になった(どちらかというと) △ どちらでもない
◇ あまり参考にならなかった(あまり) × 参考にならなかった(全然) (人)

		◎	○	△	◇	×	無回答
1	研修の目的が明確に設定されていた。	36	15	2	1	0	3
2	今回の研修は、今後の業務に活かせる内容であった。	34	14	4	2	0	3
3	研修は分かり易い順序で進められていた。	34	16	4	0	0	3
4	会場は快適な環境であった。	37	15	2	0	0	3
5	参加人数は適切であった。	36	14	3	1	0	3
6	グループ討議は有意義であった。	44	8	1	1	0	3
7	今後も参加をしたい。	38	10	4	0	2	3

(6) 今回の研修会に参加しての気づき・感想などを具体的にお聞かせください。

※ ()内の数字は参加回数

【 医師 】

- ・ 難ケースでした。もやもやが少し残りました。多方向面からのアプローチが必要ですね。(4以上)
- ・ グループ発表で同じ意見は✓印をつけて、ついていない意見を発表すると、もっと発表のチャンスが増える。(4以上)
- ・ チーム数をもう少し絞ったほうがいいのかも。(チーム当たりの人数が増えてもいい)(未記載)
- ・ 自分が思わなかった新しいアプローチの方法があったのがよかった。(2)
- ・ 軽症～中等症の認知症の方の在宅での介護支援の方法に難しさを感じた。(4以上)

【 歯科医師 】

- ・ 今回も考えさせられました。(4)
- ・ いろんな意見が聞けて、勉強になりました。(4)

【 薬剤師 】

- ・ 難しい事例だった。「本人の尊厳を第一に」を改めて思いました。(4以上)
- ・ 職種によって常識と感じる事が様々な印象があった。(1)
- ・ 沢山、意見・発言があって良かったです。(4以上)
- ・ 職種が異なると、着眼点が異なることに気付かされました。参考になりました。(3)
- ・ 認知症の方への、介護支援のアプローチは多岐にわたることがわかりました！認知症の方の本人の尊厳を大切に支援を考えていくことが大切だということがわかりました。(未記載)

【 看護師／保健師 】

- ・ 家族の介護力、本人の自尊心を損なわないような支援の大切さを痛感しました。(見方をかえる) いろんな考え方が聞けて勉強になりました。(4以上)
- ・ 職場内での問題点や解決できない事など、他の職種・事業所の方の意見を聞けて参考になりました。(1)
- ・ 職種が違くと、いろんな視点があると思った。(未記載)
- ・ それぞれの職種の意見が聞けて良かった。(未記載)
- ・ 日頃よくある事例で、他グループの別の視点を聞けて良かった。(4以上)
- ・ ケースに対応していく中で、よくあるケースだと思いました。家族が本人をどこまでご理解されているのか、宿泊支援は参考になりました。本人の尊厳を考えながら、色々なアプローチを学ぶことができました。(3)
- ・ 各立場で専門職としての意見を聞くことができました。(2)

【 歯科衛生士 】

- ・ 認知症の方への支援の難しさを感じましたが、家族の教育や支援の必要性も強く感じた事例でした。(4以上)

【 OT・PT・ST等 】

- ・ よい気付きになりました。ありがとうございました。(4以上)

【 ケアマネージャー 】

- ・ 様々な立場の方からの意見を聞き、勉強になりました。(3)
- ・ 本人の状態を知るためにも、心配している家族に泊まってもらうという発想は良いと思いました。(未記載)
- ・ グループワークにて、自主的で活発な意見が出た。どれも参考になり刺激になりました。(2)
- ・ 家族の介護負担軽減ばかりに目を向けず協力してもらうということ大切だと思いました。(1)
- ・ 直接先生から意見を聞かせていただく機会があり、とても勉強になりました。(2)
- ・ 本人の尊厳の再確認ができました。家族に対する支援のあり方を考え直す必要があると思いました。(3)
- ・ いろんな意見があり、業務の参考にしたいと思います。(1)
- ・ 気づきがいっぱいありました。ありがとうございました。(1)
- ・ 様々な専門職の視点でグループワークができ、とても参考になりました。(1)

【 介護福祉士 】

- ・ いろんな意見を聞いて、まさに多職種会議のグループワークでした。(2)
- ・ 多職種の意見を聞ける事はとてもいい。(1)

【 民生委員 】

- ・ 短時間の研修であったが、“認知症”はどうすれば良くなるか？という話してほしいと思います。
(事例を通してほしい) (2)
- ・ 今回で3回目の参加で、少しだけ意義が判った様な気が…。(3)
- ・ 回を重ねる毎に、この研修が大切だなと思った。感じた。ヘルパーさんが「受け入れてもらうまで3ヶ月かかった。」との声を聞き、民生委員にも当てはまる声だと思った。色々な方との話し合いはとても学ばせて頂き良かった。(4)

(7)全体を通してのご意見・ご感想・今後行いたい研修などございましたらご自由にご記入ください。

【 医師 】

- ・ 独居の方の、こだわりが強い方の支援が難しいです。(4)
- ・ 新しいメンバーの加入。(4)
- ・ ACPを掘り下げたGW。(未記載)
- ・ よければ、ケーススタディのその後が知りたいです。この会で話した内容は活かされたのでしょうか。(2)

【 歯科医師 】

- ・ 今後もどんどんやって下さい。(4)

【 薬剤師 】

- ・ 薬剤師として、他の職種から求められる事、逆に求めたい事が認識できる研修だと感じました。今後もグループワーク研修参加したいです。(1)

【 ケアマネージャー 】

- ・ 多職種が集まり、話し合える場所がありました。これで良いと思います。(2)
- ・ 大変勉強になりました。(1)

【 介護福祉士 】

- ・ ACPIについて受けた研修だったので、参加させていただきます。(2)
- ・ 今回初めて参加をしました。色々な職種の方との意見交換は大変勉強になりました。(1)
- ・ 特にありません。グループワークはとても参考になります。(1)

【 民生委員 】

- ・ 2025年問題についての研修をしてほしいと思います。(2)